

【イノベーション】「何か新しいことに挑戦すること」、「停滞した状態から変革をおこすこと」といった意味
 【ダイバーシティ】「多様性」、「相違点」、「多種多様性」といった意味



石塚 剛 議員

質問
SDGsの進捗と
今後の計画について

答弁
SDGsの理念で持続可能な
まちづくりに取り組んでいきたい

石塚議員の
質問動画



議員

当市のSDGsの取り組みについて伺う。

市長公室長

じょうそう未来創生プラン施策と合致すると捉えている。また、常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略にSDGsを原動力とした地方創生の施策を掲げている。

議員

SDGsを踏まえ、持続可能なまちづくりについて伺う。

市長公室長

SDGsの中で持続可能なまちづくりへの挑戦は必要不可欠であり、本市の地方創生に向け、市民や企業と共に取り組んでいきたい。

議員

誰一人取り残さない社会を目指して、持続可能な開発目標と当市の目指す未来都市像「みんなであつくる幸せのまち常総」について、市長の考えを伺う。

市長

次代、特に今の子どもたち、これから生まれてくる子どもたちが、常総市で生活していきたいと思ってもらえるような環境をつくるこ

とが市長の責務と考える。新しいものを取り入れる、自分と違った価値観の人を受け入れる、そこから新しいものを作り上げていく、イノベーションを起こす土壌が大

事である。民間企業は、ダイバーシティ、SDGsにかじを切ろうとしており、市民のニーズの変化

こういうものに応えられる行政組織としての変化が求められている

と確信している。

これからの時代に向けた変化の

時期、各種制度等、的確に捉えな

がら、市としても新たな施策を打

つていきたいと考える。

議員

今後の自治体は、施策を掘り出して、社会全体の連携で新たなガバナンス構築をしていくことが期待

され、官民連携のほか、行政の垂直連携と水平連携が非常に大切

だと考える。

SDGsを通して、誰一人取り

残されないための行政サービスと

体制づくりを改めてお願いする。

議員

公共施設の統括管理部門である

資産活用課の役割と管轄部門との

業務フロー及び休止している施設

の管理について伺う。

議員

公共施設は、行政サービスごとに設置条例を定め、施設所管課が行政財産として管理している。行政目的が終わった施設は、常総市財産管理規則を基に普通財産として資産活用課が引継いで管理していく。



吉原 晴照 議員

質問
公共施設の管理体制について

答弁
包括的なファシリティマネジメント
をしていく

吉原議員の
質問動画



議員

公共施設は、行政サービスごとに設置条例を定め、施設所管課が行政財産として管理している。行政目的が終わった施設は、常総市

財産管理規則を基に普通財産として資産活用課が引継いで管理して

いく。

総務部長

今後活用の見込みが無ければ解体の計画をすべきと提案する。次に、公共施設の予算措置について、優先順位の決め方を伺う。

議員

今年度から導入した常総市営繕

工事事前協議制度で事業評価を行

い決定している。また、財政部門

の視点と営繕及び公共施設マネジ

メントの視点から評価し、優先順

位を決定している。

議員

休止している保育所と幼稚園の跡地活用の今後の計画を伺う。

資産活用課長

対話型市場調査等での意見を踏まえて検討している。

議員

小中学校の施設の修繕計画と進捗状況を伺う。

教育部長

委託のFBS・前田建設共同事業体からの毎月定期点検報告書を基に不具合箇所に優先順位をつけて修繕業務を進めている。

議員

定期検査報告書を基に対応しているとの事だが、担当者が自ら三

現主義を重視し、安全第一を心が

けた対処を提案する。

市長

全体的な公共施設の利用、様々な地域的交通網の利便性も考えて、包括的なファシリティマネジメントをしていく考えである。

議員

公共施設の管理は資産活用課が縦組織に横串を通し、窓口として一元管理することをお願いする。

【その他の質問】

★常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会について